

めでたく満100歳

## 松本 キクノさん(茶園)

この世に生を受けて一世紀。10月20日に松本キクノさん(茶園)がめでたく満100歳を迎えられ、二本松市からは賀寿、福島県からは賀寿と木杯が贈られました。花を植えることが趣味とのことで、長寿の秘訣は「好き嫌いをなく食べること」だそうです。ますますのご長寿をお祈りいたします。



市民との協働による地域づくり

## パイプオルガンの調べを堪能

市民との協働による地域づくり支援事業を活用し、地域づくり団体「ふるさとネットワークTOWA」による「2019パイプオルガンコンサート」が、10月20日、東和小学校体育館ホールを会場に開催され、各地でオルガン演奏をしている竹佐古真希さんが「高きにいます神にのみ栄光あれ」などを披露しました。

小学校にパイプオルガンが設置されているのは珍しく、市内外から来場された多くの方がパイプオルガンの重厚な響きを堪能しました。



二本松地区文化祭

## 菊の香りと心豊かな文化の祭り

10月25日から27日にかけて第49回二本松地区文化祭が開催されました。二本松市文化センター体育室で開催された総合美術・文芸展には、13団体175人の絵画や書道、写真、彫塑、文芸、華道の作品、350点が展示され、来場した市民の皆さんは、じっくりと鑑賞していました。

また、27日には二本松市市民会館を会場に芸能発表会が開催され、31団体が62演目の邦舞や洋舞、邦楽、洋楽、詩吟、スポーツ民踊を披露しました。



消防団秋季検閲

## 市民の安全と安心を守る

10月27日、市内の各地区隊で消防団秋季検閲が行われました。台風19号の影響により岩代地域では開催中止となりましたが、二本松・安達・東和の各地区隊では式典が行われました。

二本松地域では、岳下体育館で式典が行われ、秩序整然とした雰囲気の下、長年消防団活動に尽力された方々の表彰や消防団協力企業への感謝状の贈呈が行われました。



市民の翼タイ王国派遣事業

## 国立カオキオ動物園と連携協定締結

10月26日から30日にかけて、市民の翼タイ王国派遣事業に、12人の市民がタイを訪問しました。10月27日には、タイ国立カオキオ動物園で大歓迎を受け、両国における観光PRやインバウンドに関する連携協定を締結しました。

また、JICAのアジア拠点でもあるタイ事務所を訪問し、協力隊員の活動現場を視察しました。さらに、現地の旅行会社等を訪問し、近年飛躍的に伸びているタイから福島県の訪問者のさらなる増加や交流に向けて見分を深めました。



国立カオキオ動物園との協定締結式の様子

ほんとの空の下で賑わう

## 道の駅「安達」智恵子の里 大感謝祭

10月20日、道の駅「安達」下り線特設ステージをメインステージとして、大感謝祭が開催されました。当日は晴天にも恵まれ、市内外から多くの家族連れが訪れました。

メインステージでは、キャラクターショーや福島大学チアダンスサークル「peach graffiti」によるチアダンスなどの各種イベントが繰り広げられ、そのほか屋台の出店や限定品の販売もあり、上り線・下り線とも多くの来場者で賑わいました。



二本松子育て支援センター

## ハッピーハロウィン! 「トリック・オア・トリート♪」

10月31日、二本松市子育て支援センターで、ハロウィンが開催されました。青空の下、子どもたちは、前もって自分たちで作成した衣装に身をつつんで「トリック・オア・トリート!」と元気に大合唱♪お菓子をもらってハロウィンは大成功でした。



- 1\_可愛い衣装に身をつつんだ子どもたち
- 2\_みんな揃って「トリック・オア・トリート!」

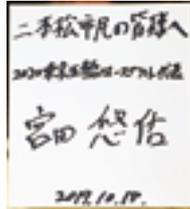


二本松市長を表敬

## カヌー宮田選手 五輪への抱負を語る

来年の東京五輪への出場が内定している宮田悠佑選手(東和中・安達高出身)がその報告のため、市役所を訪れ「市民に良いニュースを届けられるよう頑張りたい。少しでも上の順位を狙っていきたい。」と抱負を語ってくれました。

また、宮田選手から台風19号により被災された市民の皆さんへの御見舞金も頂戴しました。



## 令和元年度県北地方植樹祭 緑あふれる二本松へ

二本松しんきん城山プールの隣りに令和元年度の県北地方植樹祭記念植樹が行われました。環境緑化の推進と緑化意識の高揚を図るため、市と市緑化推進委員会がイロハモミジの植樹を行い、あわせて、天皇陛下の御即位を記念してシダレザクラの植樹も行われました。

しんきん城山プールは通年利用できる温水プールです。プールにお越しの際には、モミジやサクラもお楽しみください。



## 令和元年度二本松市発明くふう展 工夫を凝らした一品が揃う

10月31日「令和元年度二本松市発明くふう展」の表彰式が市役所で行われました。

二本松市長賞と福島県発明協会長賞に選ばれた3作品を紹介します。



写真の前列左から、福島県発明協会長賞の武藤悠翼さん・秀翼さん、福島県発明協会事務局長渡邊正幸さん、三保市長、二本松市長賞の茅原作造さん、渡邊耀さん、後列左から、優秀賞の安齋隼弥斗さん、佐藤ひよりさん、三浦一郎さん、日下部準さん



一般の部【二本松市長賞】

『教えて！青竹踏』  
茅原作造さん

考え事をしたり、話しかけられたりしても、回数を「青竹踏みが教えてくれれば」と思って、カウンターを取り付けてみました。楽しく健康になれる作品です。



児童・生徒の部【二本松市長賞】

『モバイルエアコン』  
渡邊耀さん

暑い夏でも外で働いているおばあちゃんに、少しでも風に当たって欲しいという思いから生まれた作品です。携帯電話のバッテリーの力で、外でも使えます。



児童・生徒の部【福島県発明協会長賞】

『ランドセルぬれません』  
武藤秀翼さん・悠翼さん

雨の日にランドセルが濡れてしまわないように、という思いから生まれた作品です。赤ちゃんをおんぶしているお母さんにも使ってほしいです。

## 二本松第一中学校合唱部 全日本合唱コンクール 全国大会で金賞を受賞

10月27日に岡山県で行われた「全日本合唱コンクール全国大会」にて、二本松第一中学校合唱部の皆さんが金賞を受賞しました。

11月1日には中学校で金賞受賞報告会が行われ、コンクールで発表した合唱曲が披露されました。



## 安達中学校芸術鑑賞教室 樋口達哉さんテノールリサイタル

11月7日、安達文化ホールにて「樋口達哉テノールリサイタル」が開催されました。二本松市の観光大使も務める樋口さんは、油井小学校・安達中学校の出身。「オー・ソレ・ミオ」や「日本の季節の歌メドレー」などが披露され、また、安達中学校校歌などを中学生たちと一緒に歌いました。中学生たちは、樋口さんの素晴らしい歌声や楽しいトークに聴き入っていました。



1\_母校の子どもたちと記念撮影  
2\_客席側から登場した樋口さんに大歓声の中学生

## ふるさと学級 地域の先生と一緒に料理を味わう

11月1日、小浜小学校にてふるさと学級が開催されました。この日は地域の方々を先生に迎えて、5年生30人が、「かきりばたもち」と呼ばれる「おはぎ」と「お味噌汁」作りに挑戦しました。

「かきりばたもち」は、稲刈りの時期に食べるため、「刈り取りばたもち」が語源だそうです。



1\_仲良く一緒にいただきます 2\_地域の先生とおはぎ作り